

達成指標ごとの状況

No.	達成指標	H20	H21	H22	H23 目標	H23 実績	評価	H24 目標	最終 (H27)
1	学習指導要領に基づく「千葉市版年間指導計画」の作成	移行期の指 導計画作 成	移行期の指 導計画作 成	小学校指 導計画の 作成	中学校指 導計画の 作成	中学校指 導計画の作 成	A	作成完了	作成完了
2	「学校の勉強が好きだ」と肯定的に回答する小学5年生の割合	69%	74%	75%	78%	74%	B-	80%	80%
3	〃 中学2年生の割合	38%	45%	46%	48%	50%	A	50%	50%
4	小学生一人あたり2週間の平均読書冊数	10冊	13冊	15冊	15冊	15冊	A	15冊	15冊
5	中学生一人あたり 〃	4冊	6冊	6冊	7冊	6冊	B+	6冊	8冊
6	1週間にどのくらい読書をするかに対して「読まない」と回答する小学5年生の割合	17.5%	16.0%	19%	15%	18%	B+	17%	10%
7	〃 中学2年生の割合	16.3%	15.0%	17%	13%	18%	C	17%	10%
8	「理科の勉強が好き」と肯定的に回答する小学5年生の割合	86.6%	87%	89%	90%	88%	B-	90%	90%
9	〃 中学2年生の割合	64.0%	64%	64%	65%	71%	A	70%	70%
10	「算数の勉強が好き」と肯定的に回答する小学5年生の割合	71%	70%	76%	78%	67%	C	78%	78%
11	「数学の勉強が好き」と肯定的に回答する中学2年生の割合	53%	56%	56%	58%	56%	B+	59%	60%
12	科学館を授業の一環で利用する市内小学校の割合	88.3%	90%	83%	92%	86%	B+	92%	100%
13	「絵をかく会」「総合展」への参加校	全参加	全参加	全参加	全参加	全参加	A	継続	継続
14	各中学校区の情報教育支援員（ボランティア含む）の配置率	なし	9%	9%	5%	5%	A	5%	50%
15	各学校の学校CIO育成率	なし	17%	17%	25%	25%	A	50%	100%
16	学習コンテンツを利用する学校の割合	35%	50%	65%	100%	75%	B+	100%	100%
17	千葉市独自の情報モラル教育カリキュラムを実践した学校の割合	なし	10%	45%	100%	71%	B+	100%	100%
18	「係活動等責任を持って行っている」と回答する小学5年生の割合	85%	87%	88%	88%	86%	B-	88%	88%
19	〃 中学2年生の割合	83%	85%	85%	86%	90%	A	86%	86%
20	職場体験学習を3日以上実施する中学校の割合	75%	81%	79%	83%	81%	B+	83%	95%
21	職場体験学習を実施する中学校の割合	23年度からの新規指標			100%	100%	A	100%	100%
22	「人が困っているときは、進んで助けている」と回答する生徒の割合	74%	76%	79%	80%	未実施		82%	90%
23	環境の保全、生命の尊び、自然の大切さ等について、学校独自の内容で、学習を実施している学校数	23年度からの新規指標			100%	100%	A	100%	100%
24	全児童数に対する不登校小学校児童数の割合	0.22%	0.21%	0.28%	0.20%	0.31%	C	0.25%	0.20%
25	全生徒数に対する不登校中学校生徒数の割合	2.73%	2.70%	2.79%	2.65%	2.56%	A	2.50%	2.50%
26	教育センターでのグループカウンセリング活動に参加した児童生徒のうち、学校復帰に向けた改善が図られ、教育相談指導教室に入級できた児童生徒の割合	32%	38%	44%	46%	55%	A	50%	50%
27	高等学校卒業時の進路決定状況	76%	77%	78%	80%	80%	A	83%	83%
28	埋蔵文化財調査センターの出前講座を利用する学校数（延べ数）	17	37	47	57	57	A	60	95

No.	達成指標	H20	H21	H22	H23 目標	H23 実績	評価	H24 目標	最終 (H27)
29	「英語の勉強が好き」と肯定的に回答する中学2年生の割合	61%	61%	66%	64%	61%	B-	64%	70%
30	「英語活動が楽しい」と肯定的に回答する小学5年生の割合	81%	90%	93%	93%	96%	A	96%	96%
31	市立稲毛高等学校・附属中学校における高校2年時の 実用英語技能検定(英検)2級の合格率	23年度からの新規指標			100%	56%	B+	100%	100%
32	海外の学校との交流活動を実施している学校数	17	18	20	25	20	B+	25	30
33	団体貸出用資料の貸出冊数(学校専用貸出及び団体用貸出の計)	16,000	19,606	20,731	21,000	20,891	B+	21,500	23,000
34	子ども読書まつりの参加人数	3,800	4,445	6,841	6,900	8,399	A	6,900	6,900
35	オーケストラコンサート参加人数	4,231	3,600	4,000	4,300	4,300	A	4,500	4,900
36	県運動能力証の合格率(小学生)	24.0%	24.5%	25.9%	26.2%	25.4%	B-	26.5%	27.5%
37	〃(中学生)	23.2%	23.2%	24.1%	24.7%	23.6%	B-	25.0%	27.0%
38	新体力テストにおいて、各学年・種目で全国平均を上回る割合	95.8%	96.5%	93.1%	94.4%	90.3%	C	95.0%	100%
39	行政区に対する総合型地域スポーツクラブの設立数の割合	67%	83%	100%	100%	100%	A	事業完了	100%
40	12歳(中学1年生)のDMF指数(永久歯の一人あたりの平均虫歯指数)	1.36	1.13	1.12	1.11	1.19	B-	1.10	1.00
41	朝食を必ず食べる児童生徒の割合	88.0%	90.0%	89.4%	90.7%	90.5%	B+	90.7%	92.0%
42	子育てサロンが行う子育て相談への参加者数(延べ数)	2,298	3,700	2,198	2,100	2,150	A	2,200	2,500
43	放課後子ども教室の年間延参加児童数	22年度より新規指標		107,795	127,049	101,731	B-	150,000	174,000
44	地域の大人に挨拶をしたり、話すようになったりした参加児童の割合	22年度より新規指標		59.3%	59.0%	58.9%	B-	60%	60%
45	異なる学年の児童と遊ぶようになった参加児童の割合	22年度より新規指標		40.2%	41.5%	39.9%	B-	42.0%	45%
46	公民館の小・中学生の学習者数(延べ数)	42,000	37,700	24,700	25,000	21,800	C	25,000	48,000
47	学校・家庭・地域連携によるまちづくり推進事業への参加者数(延べ数)	61,733	62,800	68,554	69,000	71,570	A	72,000	72,000
48	学校セーフティウォッチャーの登録者数	16,000	18,500	20,600	21,000	23,100	A	23,400	24,000
49	こども110番のいえ設置数	10,080	11,000	11,443	11,700	10,038	C	10,500	20,000
50	「青少年の日」つながりウィーク地域行事を実施する中学校区数	40	43	47	50	48	B+	50	56
51	学校施設の耐震化の割合(耐震化率)	60%	64%	70%	73%	74%	A	83%	H26に100%
52	普通教室2台、特別教室6台の配備に向けたLAN用コンピュータの整備状況	11%	11%	50%	50%	48%	B-	48%	100%
53	不審者侵入に対する防犯訓練を実施する学校	全校実施	全校実施	全校実施	全校実施	全校実施	A	継続	継続
54	地上デジタル放送への対応割合 (上段:テレビ配置、下段:アンテナ工事)	なし	100% 53%	完了	事業完了	事業完了	A	事業完了	完了
55	学校適正規模校の割合 (上段:小学校、下段:中学校)	23年度からの新規指標			56% 50%	56% 50%	A	59% 52%	63% 55%
56	特色ある学校づくりを展開する学校	全校実施	全校実施	全校実施	全校実施	全校実施	A	継続	継続
57	高等学校が連携教育を行う大学数	6	6	7	8	7	B+	9	10

No.	達成指標	H20	H21	H22	H23 目標	H23 実績	評価	H24 目標	最終 (H27)
58	市立千葉高校における、単位制で選択科目が充実しており、授業や補習など教科指導が熱心に行われていると回答した生徒の割合	23年度からの新規指標			80%	80%	A	85%	85%
59	市立稲毛高校における、少人数学習やネイティブの授業等、コミュニケーション能力を高め、英語力の向上を図る授業を受けたり、様々な国際交流の体験をすることができた生徒の割合	23年度からの新規指標			83%	79%	B+	83%	85%
60	預かり保育を実施する幼稚園の割合	85.9%	86.0%	87.1%	89.1%	90.2%	A	継続	92.5%
61	教員採用選考において、インターンシップ研修生が本市を受験する率	77%	81%	81%	83%	85%	A	85%	85%
62	免許外教科担任の許可申請件数	50	44	50	49	59	C	59	65
63	基本研修受講者の満足度	80%	90%	90%	90%	91%	A	90%	90%
64	全教職員に対する専門研修受講者の割合	94%	96%	100%	100%	100%	A	100%	100%
65	現場研修員、長期研修生、海外派遣研修の研究・研修成果の発表	全研修員による実施	全研修員による実施	全研修員による実施	全研修員による実施	全研修員による実施	A	継続	継続
66	研究指定校の報告会参加人数	1,264	1,650	1,700	1,700	1,670	B-	1,700	1,700
67	教職員教育研究発表会の応募教科・領域等の割合	54%	65%	65%	75%	75%	A	77%	80%
68	出前講座等により研究成果を校内研究で取り上げる学校の割合	16%	28%	36%	40%	39%	B+	40%	40%
69	教育研究奨励賞受賞者累計数	994	1,019	1044	1,069	1,069	A	1,094	1169
70	学校管理訪問の年間実施学校数の割合	全校の3分の1実施	全校の3分の1実施	全校の3分の1実施	全校の3分の1実施	全校の3分の1実施	A	継続	継続
71	NPO人材の活用小学校数	なし	17校	63校	50校	68校	A	70校	90校
72	// 活用中学校数	なし	3校	12校	20校	17校	B+	20校	30校
73	教員の校務用コンピュータ整備率	17.6%	21.9%	81.2%	84.3%	81.3%	B+	81.3%	100%
74	教員の勤務負担への教育委員会の対応 (勤務による負担が減少したと感じる教員割合)	23年度からの新規指標				検討及び実施準備		検討及び実施	50%
75	学校問題解決支援体制の整備	なし	調査検討	調査検討	検討準備	検討準備	A	検討準備	整備
76	全市立学校長を対象とした目標申告に関する面接の実施		実施	実施	実施	実施	A	継続	継続
77	指導員配置により、学習の取り組み状況や生活面が改善した児童生徒の割合	70%	75%	75%	75%	75.5%	A	76%	85%
78	学校訪問相談員が訪問した学校数	22年度より新規指標		70校	70校	70校	A	90校	依頼を受けた学校に訪問
79	教育相談を受けるまでの時間数	23年度からの新規指標			1月以内	20.5日	A	20日	2週間
80	特別支援教育の研修講座の内容に対する受講者の満足度	97%	93%	96%	96%	96%	A	97%	97%
81	長柄ハッピーキャンプに参加した後、学校や家庭でよい変容がみられる児童生徒の割合	50%	60%	65%	65%	73%	A	75%	60%
82	高等特別支援学校の設置	なし	調査・検討	調査・検討	設置に向け協議	設置に向け協議	A	設置準備の完了	設置
83	不登校児童のうち登校できるようになった小学生の割合	24.1%	25%	25%	27%	30%	A	30%	30%
84	不登校生徒のうち登校できるようになった中学生の割合	29.2%	30%	30%	32%	32%	A	35%	35%
85	適応指導教室での活動により学校復帰できた児童生徒の割合	62%	56%	63%	65%	86%	A	75%	75%
86	教育センターでのグループカウンセリング活動に参加した児童生徒のうち、学校復帰に向けた改善が図られ、教育相談指導教室に入級できた児童生徒の割合	32%	38%	44%	46%	55%	A	50%	50%

No.	達成指標	H20	H21	H22	H23 目標	H23 実績	評価	H24 目標	最終 (H27)
87	日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒で指導を受けている児童生徒の割合	98%	98%	98%	98%	98%	A	同水準を維持	同水準を維持
88	入学説明会等において就学援助制度に関する保護者への説明を実施する学校	全校で実施	全校で実施	全校で実施	全校で実施	全校で実施	A	継続	継続
89	不登校児童生徒がいる学校で「IT等を活用した学習」を申請している割合	なし	15%	34%	35%	37%	A	40%	50%
90	学校関係者評価を実施している学校の割合	94%	100%	100%	100%	100%	A	100%	100%
91	学校ホームページの定期的更新を実施している学校の割合	95.6%	100%	100%	100%	100%	A	100%	100%

「C」評価の内容

No.	達成指標	理由・今後の対応
7	一週間にどのくらい読書をするかに対して「読まない」と回答する中学2年生の割合	<p>[理由] 放課後の部活動や習い事をする生徒が多いことに加えて、新学習指導要領の全面実施に備えて授業時間数を増加した学校が増えたことにより、本に触れる機会が減っていると考えられる。</p> <p>[今後の対応] 学校における読書の時間の確保に努めるとともに、さまざまなジャンルの本と出会ったり、読書の楽しさを味わったりする学習や読書活動を充実させることで、日常的に本に親しむ生徒を増やしていくよう、各学校に指導していく。</p>
10	「算数の勉強が好き」と肯定的に回答する小学5年生の割合	<p>[理由] 算数科では、「考える楽しさ」や「よさ」を味わえるように日々の授業実践を行っている。しかし、新学習指導要領が全面実施され、新しく入った学習内容も多くあるため、それらに対して「考える楽しさ」を味わえるような指導の工夫が十分でないと考えられる。</p> <p>[今後の対応] 毎時間のねらいを明確にし、練習の時間を多くしたり、考える時間を多くしたりと、一時間の学習の流れを柔軟にし、指導にあたるよう教科主任会等で指導していく。</p>
24	全児童生徒数に対する不登校小学校児童数の割合	<p>[理由] 小学校で不登校が増加した原因は、第1に「極度の緊張、不安、無気力」第2に「親子関係をめぐる問題」があげられる。これまで中学生の段階でみられた状況が低年齢化している表れと思われる。</p> <p>[今後の対応] 各中学校に配置したスクールカウンセラーには、学区の小学校の教育相談活動に積極的に取り組むように依頼している。また、教職員にも子ども理解を通じて一人一人にあった教育相談活動を組織的に行えるよう生徒指導主任会等で働きかけていく。</p>
38	新体力テストにおいて、各学年・種目で全国平均を上回る割合	<p>[理由] 小学校では、49%(47/96項目)が、中学校では、54%(26/48項目)が昨年度の記録を上回っており、本市の課題である握力やソフトボール投げは、記録の向上が見られる学年もある。全国的に体力向上の意識が高まり、全国平均値が高くなっており、絶対値が高まっても、全国平均を上回らない種目もでてくる。</p> <p>[今後の対応] 新体力テストに取り組む前に、各学校で、体力向上推進委員会等で結果を分析するとともに、一人一人の実態に応じた目標を今以上に明確に持たせ、学習指導のみならず学校教育活動全体を通じた体力向上に向けた取り組みを実施するよう、体育主任会等の研修会で徹底を図っていく。</p>
46	公民館の小・中学生の学習者数(延べ数)	<p>[理由] 少年の学習活動を受け入れてくれるクラブ・サークルの減少に伴い、公民館の小・中学生の学習者が減少した。また、震災等の影響により4月の公民館の小・中学生の学習者数が減少している。</p> <p>[今後の対応] クラブ・サークルの減少理由等を調査し、地域の状況を把握する。また、春休み・夏休み・秋休み等の学校休業日の事業の充実を図る。</p>
49	こども110番のいえ設置数	<p>[理由] 23年度は、健全育成課で登録し保管していた登録者名簿を、各中学校区に降ろして照合した結果、両方でダブル登録していた家や事業所が多数見つかったこと、また、各育成委員会で子ども110番のいえ登録の意思確認をしたところ、継続の辞退をする家や事業所が多数あったこと等による設置数の減少があった。</p> <p>[今後の対応] こども110番のいえのプレートの設置による地域の犯罪の抑止効果等を理解していただき、新規登録者の開拓に努める。また、事業所の団体等にも協力の呼び掛けをしていく。</p>
62	免許外教科担任の許可申請件数	<p>[理由] 免許外教科担任は原則として発生させないように努めるべきであるが、24年度からの新学習指導要領の完全実施に伴い、中学校では授業時間数が1時間増加するほか、理科、英語等の授業時間数が増加した教科に対する教員を多く確保する必要がある。一方で、定数法上では、1学校当たりの教職員数の定数は変更がない。こうしたことから、免許外教科担任は、計画策定時よりも発生しやすい状況にあると考えられる。</p> <p>[今後の対応] そのため、達成目標の値を適切な数値に改めることとした。</p>